Copyright-2004. 長沼町立西長沼小学校 All rights reserved.

第二学年算数科学習指導案（抜粋）

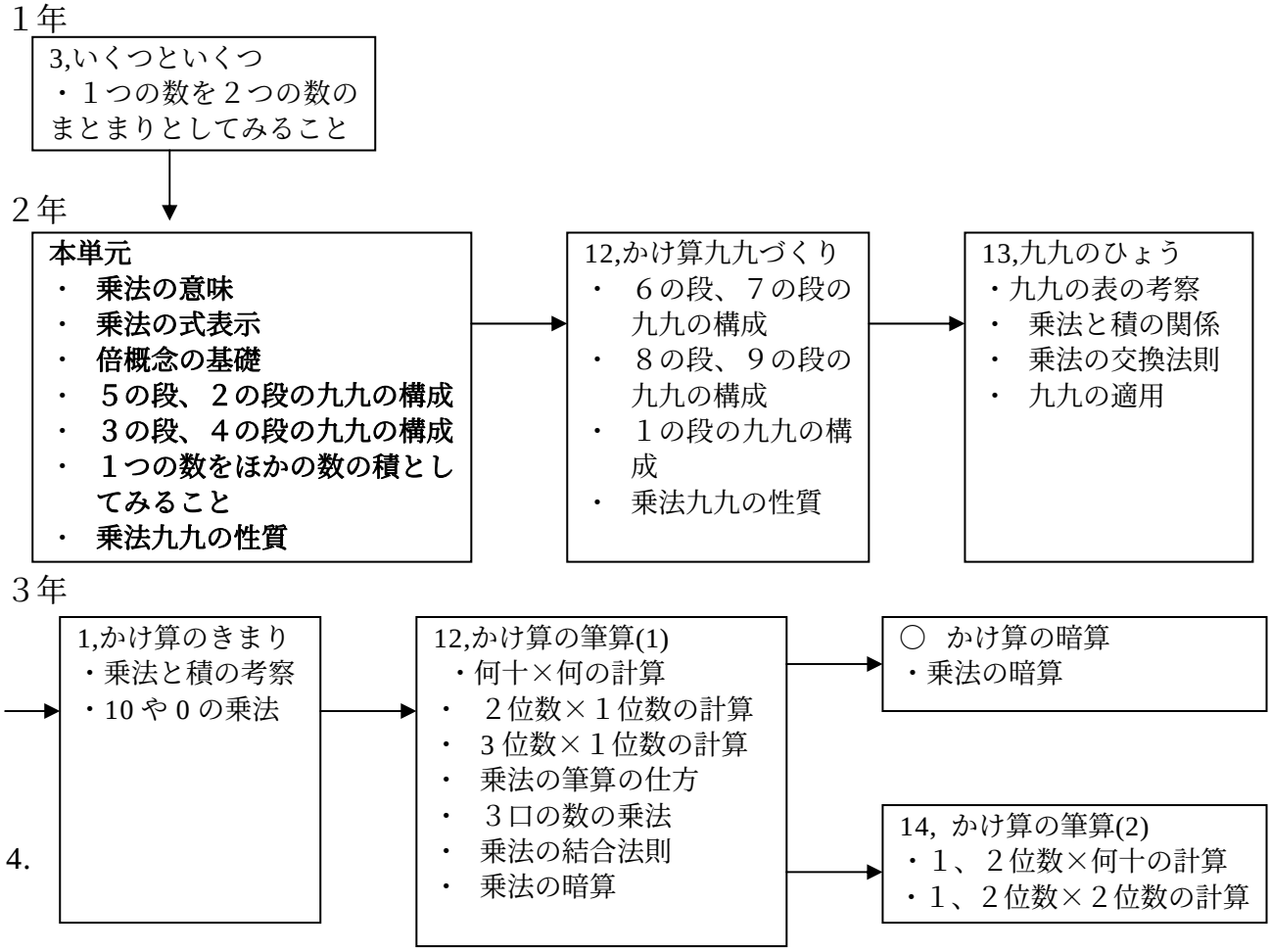
日　時　　2004年9月３０日（木）2校時
児　童　　第２学年　６名

1. 単元名　　かけ算

2. 単元について

○ これまで、数をまとまりとして数える学習や、規則的にブロックを配置するなどの学習を通して、乗法の素地となる学習を行った。また、長さやかさの学習では、任意単位を用いて全体量を表す学習を行った。
○ 本単元においては、既習事項を基に具体的な事象と関連性を図りながら乗法の意味や式による表現の方法を理解させることをねらいとしている。
○ 乗法の意味を指導する場合には、《もとになる量×いくつ分》と式で表示することを理解させ、「倍」の概念を用いて数を捉えられるように指導することが大切である。
○ 特に、九九のかけ算については、単なる暗唱に終わらないよう指導することが大切である。そのため、３の段においては「かけられる数・かける数」の用語を用いて乗法の性質などに気づかせるようにしたい。また、九九を表にまとめるなどにより、きまりを発見させたり、日常生活の中から乗法との関連性を見つけさせ「かけ算」への関心を高めたいと考える。
○ 課題やまとめにおいて、コンピュータなどの情報機器を活用し、視覚的に捉えやすくするなど教材の工夫を行い、子どもの理解を深められるようにした。

3. 単元の系統



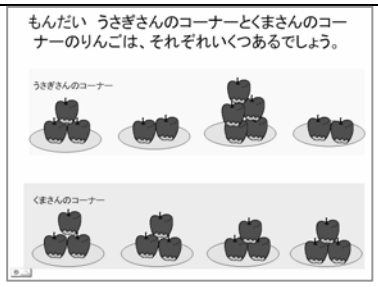
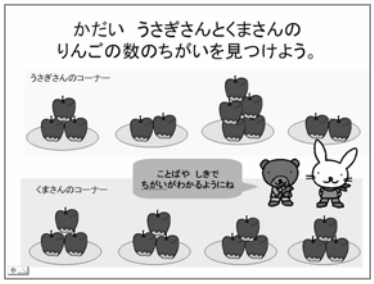
4.

Copyright-2004. 長沼町立西長沼小学校 All rights reserved.

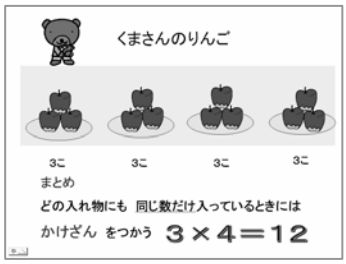
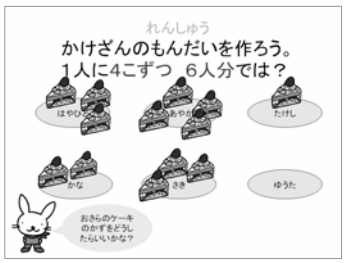
(1) 本時の目標

- 同じ数を基準量とするいくつ分で求める乗法の必要性やよさに気づくことができる。(考)
- 乗法が用いられる場面や、乗法の意味、「かけ算」の用語、乗法の式がわかる。(知)

(2) 本時の展開

段階	児童の活動	教師の支援・留意点など
課題把握	1，　問題を知る。 うさぎさんとくまさんのりんごの数は、それぞれいくつあるでしょう。 2，　それぞれのりんごの個数を数える。(タイル使用) 3，　課題を知る。 うさぎさんとくまさんのりんごの数のちがいを見つけよう。 4，　解決のための方法を考える。 ・ 上段と下段の違いが絵を見なくてもわかるように言葉で説明する。 ・ 立式する。	 ・ どちらも同じ数だけあることを確認する。  ・ 解決の見通しを立てさせる。
解決努力	5，　自力解決をする。 【上段】 ① どの皿のりんごの数もばらばらでちがう。 ② ２枚の皿はどれも２個ずつ、ほかの２枚は３個と５個。 ③ 初めの皿は３個、次の皿は２個、次の皿は５個、次の皿は２個。 ④ 3＋2＋5＋2 など 【下段】 ① どの皿に入ったりんごも同じ数。 ② 全部の皿に３個ずつ ③ どの皿にも３個ずつで、皿の枚数が４枚。	・ それぞれの皿にいくつあるかを考えさせる。 ・ 上段と下段の違いに着目させる。 ・ 時間がある子には、別の説明の仕方を考えさせる。

Copyright-2004. 長沼町立西長沼小学校 All rights reserved.

	④ 3＋3＋3＋3 ⑤ 3×4 など　※【上段】【下段】の組み合わせは、いろいろ考えられる。	
定着	6，　考えを発表する。 7，　【上段】【下段】の違いを確認し、かけざんで表すことのできる場合の約束を理解する。 どの入れ物にも同じ数だけ入っているときには、かけざんをつかう	・ 取り組んだ方法を全て発表させる。 ・ 自分がどの方法で数えたかを確認させる。  【知】乗法が用いられる場面や、乗法の意味、「かけ算」の用語、乗法の式がわかったか。 【考】同じ数を基準量とするいくつ分で求める乗法の必要性やよさに気づくことができたか。
習熟発展	8，　練習問題をする。 ・ どんな場合にかけざんで表すことができるかを考える。	

(3) 本時の評価

- 同じ数を基準量とするいくつ分で求める乗法の必要性やよさに気づくことができたか。(考)
- 乗法が用いられる場面や、乗法の意味、「かけ算」の用語、乗法の式がわかったか。(知)

5. 板書計画

もんだい
うさぎさんとくまさんのりんごは、それぞれいくつあるでしょう。

かだい
うさぎさんとくまさんのりんごの数のちがいを考えよう。

ほうほう
- ことば
- しき

パワーポイント映写

うさぎさんのりんご　くまさんのりんご

まとめ
どの入れ物にも同じ数だけはいっているときには、かけざんをつかう